資料№３－１

健康・医療・介護情報等の分析に基づく健康課題

・令和6年度の事業方針作成において、佐渡市が取り組むべき健康課題として下記の5つを設定しました。
　また、これらの課題が解決された状態を目指すべき目的とし、その目的を達成するために必要な目標を「大目標」「中・長期的な目標」「短期的目標」として設定し、保健事業との関連性を整理しながら事業を進めていきます。

データ分析による健康課題について（課題の要旨）

〇高血圧、高血圧由来の疾患（脳血管疾患、心臓病、CKD）の医療費が高額となっている。

〇糖尿病の医療費が高額となっており、健診結果でもHbA1c6.5%以上の者が多くなっている。

〇健診の質問票において、貧血の既往があると回答する者が県に比べて多い。（国保世帯も同様）

〇身体活動は県に比べて多いが、運動習慣のある者は県に比べて少ない。

〇経年で見ると、医療にかかっている者が9割を超える一方、健診を受診している者は3割程度である。また医療給付も介護給付も受けていない健康状態不明者がいる。

目的（命題・基本理念）

◆健康寿命の延伸◆

大目標

（1）　心身機能の維持・低下防止	（2）　生活習慣病の重症化予防

①栄養改善事業	②生活習慣病重症化予防事業
③健康状態不明者の実態把握事業	④フレイル予防普及啓発事業
④フレイル予防普及啓発事業	⑤フレイル相談事業
⑤フレイル相談事業	

高齢者の特性を踏まえた健康支援を行うことが重要！
「生活能力の低下を早期に自覚・発見し、適切な行動・介入へつなぐ」

■事業評価計画を策定し、下図の構造ごとに評価指標と目標値を設定します。

保健事業評価の構造

〇ストラクチャー「実施体制」・・・実施体制は整っているか
〇プロセス「実施過程」・・・うまく運営できているか
〇アウトプット「実施量」・・・ちゃんと実施できたか
〇アウトカム「成果」・・・結果は出ているか

評価指標・目標値の設定